

# 報

# 告

## 新年交礼会開催

### ◇総務部◇

北海道医師会平成18年新年交礼会を、1月6日(金)午後6時から札幌グランドホテルで、議員、知事、行政、医療団体、関係諸団体等の方々約350名のご出席のもと開催した。

宮本常任理事の司会で開会。飯塚会長は、「小さな政府を目指す国は、医療制度改革で財政支出減・患者負担増を目論んでおり、国民は先行きの見えない不安感を募らせている。医師会としては、ニーズに合った医療提供体制を構築し、地域医療の確保に邁進したい。」と年頭の挨拶を述べ、来賓の高橋はるみ知事からは、「道民の健康向上、地域医療の確保に御礼申し上げる。小児科・産婦人科を中心に医師が不足しているが、医療対策協議会、熟年ドクターバンク、小児救急電話相談事業、ドクターヘリ等への協力に感謝する。任期4年目となったが愛される道政を目指した

い。」とご挨拶いただいた。

長瀬副会長の乾杯で交歓に入り、会場のあちこちで新年の挨拶が交わされた。

途中、来賓紹介、スピーチ、祝電披露が行われ、その中で遠路来札いただいた武見敬三参議院議員は、「制度改革の枠組みが決められてしまい今年は法案審議となる。力だけでは対抗できない。医療提供側からの政策論が必要でそれが出来るのは医師会のみだ。地方分権への流れの中で今後都道府県・郡市区医師会の基盤を再確立する必要がある。」と述べた。

また、町村信孝・荒井聡・中川義雄議員、岩本允道議（出席道議代表）からスピーチをいただき、最後に赤倉副会長の万歳三唱で新春を寿いだ会をお開きとした。



飯塚会長－挨拶



高橋はるみ北海道知事－来賓挨拶



武見敬三参議院議員－スピーチ



町村信孝衆議院議員－スピーチ